



## 1/18 阿蘇郡ジュニアバドミントン大会で好成績

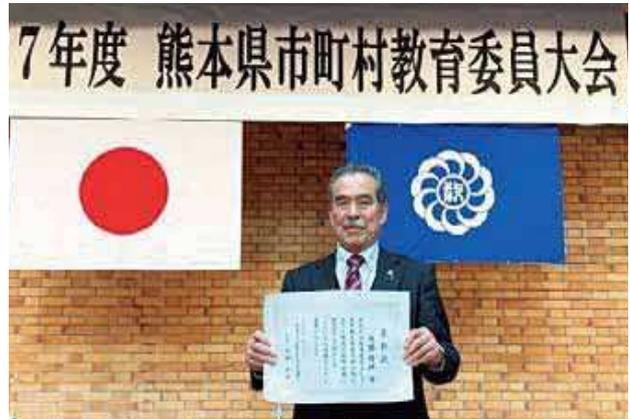


全力で試合に挑んだ選手たち

西原村総合体育館で第5回阿蘇郡ジュニアバドミントン大会が開催されました。

試合は学年別男女にわかれて行われ、南阿蘇村ジュニアバドミントンクラブからは計5ペアが、4年生以下の部男子・女子、5年生以下の部男子・女子で3位以上入賞という輝かしい成績を残しました。選手たちは次の大会での優勝を目指し、これからも日々の練習に励んでいきます。

## 1/20 県市町村教育委員会連絡協議会永年勤続者表彰



県庁で「県市町村教育委員会連絡協議会永年勤続者表彰」が行われ、後藤隆興教育委員（中松一）が表彰を受けられました。後藤委員は平成28年7月より教育委員として村教育の振興発展に尽力されており、その長年の功労が認められ、今回の受賞となりました。受賞にあたり後藤委員は「村の子どもたちが元気に喜んで学校に来てくれるように、皆さんと一緒に取り組んでくれたことが嬉しい。今後も子どもたちのために活動を続けていきたい」と温かな想いを述べられました。

## 1/20 子育て世帯へあか牛とそばの食卓応援便を支給



太田村長からセットを手渡しされた子どもたち

「あか牛の館」で、子育て世帯への食卓応援便として村特産であるあか牛肉とそばのセットの支給が行われました。

この取り組みは食材高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担を軽減することを目的とし、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用したものです。今回は村内に住む0歳から18歳までを対象に、1人につき5,000円相当のセットが支給されました。3つ子を含む5人の子どもを育てる今村康太さん（第8駐在）は、「子どもたちにお肉をおなかいっぱい食べさせられるので嬉しい」と話されました。

## 2/3 鬼は外！福は内！ 保育園で豆まき



村内の3保育園で節分に合わせて豆まきが行われました。

ちょうよう保育園では、事前に各クラスの園児が手作りのお面と豆を入れる袋やバッグを制作。それぞれ個性溢れる鬼に変身していました。

鬼の姿のお披露目の後は、園児全員で豆に見立てた手作りのボールを投げ合いました。泣き出す園児もいましたが、お面が貼られた板や鬼のお面を被った先生に向かって「鬼は外、福は内」と掛け声を上げながらボールを力強く投げ、みんなで無事に鬼を退治しました。

## 2/10 「バスの乗り方教室」実施



産交バス株式会社の協力で、白水小学校1年生を対象にバスの乗り方教室が実施されました。この取り組みは、児童に公共交通を利用する習慣を身に付けてもらい、将来的な路線の維持・活性化を図ることを目的に行われました。

初めに産交バスの職員による紙芝居を交えた講話があり、児童はバスの乗降方法や案内表示、車内でのマナーなどを学びました。その後、実際に村内を運行している路線バスに乗り込み、小学校周辺を周遊しました。乗降

時には一人ずつICカードをタッチし、降車ボタンを押すなどの体験を行い、バス車内でも楽しそうな時間を過ごしていました。

甲斐さわさんは「バスはみんなで乗るものなので、ルールを守ることの大切さも知った。また乗りたい」と感想を述べられました。

村では、地域の大切な役割を担っている地域公共交通の活性化や子どもたちの社会経験の構築のために、今後もバスの乗り方教室の実施を検討していく予定です。

## 2/10 シルバー人材センターで 清掃研修会開催



シルバー人材センターには、さまざまな作業の相談が寄せられます。その中で清掃にも対応できるよう、事務所にて希望会員向けに「これから役立つ清掃作業研修」が開催されました。講師に建築物環境衛生管理技術者などの資格をお持ちの中村英治さんを迎え、座学と実践の3時間で「清掃の目的(美観と快適)・従事者の心得(意識と価値)・洗剤や道具の正しい使い方(安全と効果)」をご指導いただきました。参加者は「掃除と清掃の違いや道具の適切な動作など知らないことが多いので、ぜひ今後の作業に活かしたい」と熱心に学ばれていました。

## 2/19 障害者による書道・写真全国コンテストで銅賞 県障がい者夢応援表彰を受賞



受賞された写真

伊藤信郎さん(第2駐在)が「第40回記念 障害者による書道・写真全国コンテスト」写真部門で銅賞を受賞されました。またこの受賞に併せ、「県障がい者夢応援表彰」も同時に受賞されました。

受賞された写真はあそ望の郷くぎので撮られたもので、雄大な自然を背景にブランコに揺られる親子を写しています。伊藤さんは「写真を通して南阿蘇の豊かな自然を紹介したいと思っている。今後も楽しく写真を撮り続けたい」と語られました。